

先端的代数学融合研究部門 代数幾何学講演会

下記の要領で三井健太郎氏 (神戸大学大学院理学研究科) による講演会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。¹

日時: 2023年7月28日(金)

場所: 東京理科大学 創域理工学部7号館5階7502室²

東武アーバンパークライン(野田線) 運河駅徒歩7分

世話人: 伊藤 浩行 (東京理科大学)

講演予定:

7月28日(金) 13:00 – 14:30

曲面の α_p -作用から $\mathbb{Z}/p\mathbb{Z}$ -作用への変形 I

(Deformation of α_p -actions to $\mathbb{Z}/p\mathbb{Z}$ -actions on surfaces I)

7月28日(金) 15:00 – 16:30

曲面の α_p -作用から $\mathbb{Z}/p\mathbb{Z}$ -作用への変形 II

(Deformation of α_p -actions to $\mathbb{Z}/p\mathbb{Z}$ -actions on surfaces II)

内容: 正標数 p の代数閉体を係数とする2変数冪級数環への α_p -作用と $\mathbb{Z}/p\mathbb{Z}$ -作用の具体的記述とその分類は $p=2$ の場合を除き十分にされていない。また、それらの商特異点の様子も殆ど解明されていない。一方で、この二種類の作用を変形で繋げることができれば一方の研究を他方の研究へ応用できると期待できる。本講演では伊藤浩行氏との共同研究で得られたこのような変形についての最近の結果について報告する。

三井氏は7月25日から29日まで本学に滞在されます。尚、内容、時間等は議論に応じて若干変更される可能性があります。

¹東京理科大学総合研究院総合研究機構「先端的代数学融合」研究部門主催

²<http://www.tus.ac.jp/info/access/nodcamp.html>